

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成22年 3月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3473900599
法人名	社会福祉法人 成寿会
事業所名	グループホーム大浜
所在地	広島県呉市豊浜町大字大浜字深田482番地の1 (電 話) 0846-68-2626
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成22年3月8日

## 【情報提供票より】( 22年 1月 20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	9人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.45 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての,	2 階 ~	3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	53,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 1月 20日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	75 歳	最高	101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊藤医院・岡本医院・豊浜歯科診療所・升谷医院
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設はミカン畑に囲まれ瀬戸内海の島々を一望でき、自然豊かな環境に位置している。利用者は地域の方々と触れ合いながらのんびりと、我が家のような環境でマイペースで過ごされている。地域行事(弓射祭・豊島祭)にも積極的に参加され、施設での陶芸教室を開いたり、地元で取れた芋で焼きイモ大会、焼きミカンなどを食し地域の方々と交流を図っている。利用者は、散歩が日課でミカンやレモンが突っている通りを散策し農作業をされている地元の方と会話をされ、健康維持にとでも役立っている。隣接している老健施設へ出かけて行事と一緒に楽しんだりして交流を図っている。食事の栄養バランスを考慮して食材は、地産地消で賄っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価を受けて、運営推進会議に町内会の人参加が出来るようご案内を配布するよう取り組んでいる。同業者との交流は、地域包括センターとの連携に力を入れて取り組んでいる。設備の改善については、一つ一つ改善している。利用者と職員と一緒に食事を取ることは、まだ出来ていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニット長を中心にまとめ、それをホーム長がまとめ自己評価の意義や目的を全職員に周知をはかり、評価の必要性についてはカンファレンスで充分説明をし全職員で取り組んでいる。自己評価による気づきが、日々のケアの質の向上になると感じている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、2ヶ月に1回開催されている。内容は報告事項、利用者の状況、行事内容について毎回報告する事が中心となっているため、地域での認知症の啓発活動、介護指導の実施にはいたっていない。定例のメンバーは、地域の民生委員、地域包括支援センター、家族、自治会長、職員、管理者、ケアマネ、福祉保健課等の方から意見をいただきホームのサービス向上に繋がるように取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ご家族の意見は来訪時に生活や健康の状態を報告、介護計画の説明、または意見を伺ったり、電話での連絡時に聞き介護計画やホームの運営に反映している。また2ヶ月に1回は収支報告と写真を添えて、変化についてご報告するようにしている。介護支援専門員が家族との連絡を密に取り利用者の変化に対応すべく個別支援の強化をしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩に出かけたときに農作業をしている人や民家の人と交流し、ミカンを頂いたり、お花を頂いたりして地域の方とふれあい話も弾み交流している。地域のお祭り(弓射祭・豊島祭)や行事に参加したり年始には、神社に初詣をしている。地域に根ざしたグループホームとして取り組んでいる。</p>

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で地域の人々に認知されるように「利用者の意思及び人格を尊重し家庭の延長としてその人らしい安心した生活が出来るよう支援します」を事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念とそれに伴う方針は、毎日朝礼時に職員全員で理念を唱和し、日常業務の中で理念の意味について話し合い、意見交換し理念の実現に向け日々職員全員で取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入って可能な限り行事に参加し地域の人たちと触れ合う機会を持っている。地域の幼稚園に訪ねていただき交流している。地域の行事(弓射祭・豊島祭・大浜大祭・はなまつり)に参加し地域のかたがたと触れ合っている。施設の中でパン工房を開催し地域の方も、参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義については、ミーティング時や職員会議で全職員に周知し、更にそれぞれのユニット毎に話し合いをして取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、民生委員や、家族、自治会長、包括支援センター、職員、管理者、ケアマネ、福祉保健課の方々が参加し、ホームより日常生活や活動報告、評価報告等の説明を行いホームへの理解をいただいている。参加者からのご意見は、検討会議を行い改善に向けて努力している。		運営推進会議には、徐々に多くの人々に参加して頂いています。今後も消防署、警察官等地域の方にも参加していただけるように、継続して案内状等を作成し活発な意見交換をされることを期待します。

グループホーム大浜

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居者の課題解決やホームのよりよいあり方を求める中に市町村の理解や支援が必要な状況が多々ありますので市町村との連携が求められます。		市町村の担当者と協議し解決しなければならない課題が発生すると思われますので、積極的に連携に取り組まれることを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	近況、健康状態等、毎月家族への報告書を送付する時、利用者が家族に宛てた直筆の手紙を同封すると共に、成寿会便りを作成し家族に配布している。また掲示板には、施設で行っている行事に参加した利用者のスナップ写真を掲示し、家族が面会に来られた時自由に家族の写真を受け取っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関口にはご意見箱を設け家族からの率直な意見を聞く体制ができています。施設行事として秋祭りを行う時家族からの意見交換の場を設けたり、面会時や電話での家族との意見交換もケアマネが積極的に行い施設運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	3ヶ月に1回2階と3階の職員のローテーションがあるが、行事等合同で行うため利用者には顔なじみであり、全職員がどの利用者でも馴染みとなり、同じ介助・介護を受けられることを目指して日々努力している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月定例の法人の全体会議に参加し研修を受けたり、隣接の老健で合同研修を受けている。外部研修も選任された人が、参加し研修を受けた内容について報告会を開き、また回覧により意識の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人グループ内での合同行事では交流があるが、他グループとは交流が少ないので積極的に交流を検討している。		包括支援センター等行政の支援を受け同業者との交流に取り組まれることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新しく入居される利用者には、ホームの見学や自宅訪問で本人や家族の意見を聞きながら納得されて、徐々に利用者が安心して生活できるよう、一人一人に合った方法で馴染めるように工夫しながら対応している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者からの意見を常に傾聴し人生の先輩としてアドバイスを受け、利用者からの昔の習慣や季節ごとの料理や掃除の仕方など教えてもらっている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の暮らしの中で利用者の希望や意向を聞くようにしている。困難な場合は、時間をかけて寄り添い、思いや意向の把握に努めている。また利用者の希望で地の物で作ったバイキング形式の食事を楽しんだり、喫茶も行っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人の意向や家族の希望を聞きアセスメントを行い、家族・職員と話し合い課題と目標を設定し、職員カンファレンスで話し合い介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、3ヶ月に1回モニタリングを行い見直しをしている。利用者の心身等の状態に変化が生じた場合は、随時チョットカンファレンスや家族や職員、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護ができるように計画変更を行っている。</p>		

グループホーム大浜

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接した老健の料理長が料理教室を開いたり、成寿会の行事に沿って計画された陶芸教室・エステ・パン作り等、または老健・ショートステイと合同での行事に地元の方も参加し多機能性を活かした柔軟な支援を実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の要望に沿って島内の病院へ通院したり歯科医には、往診していただき適切に医療の受診ができるように支援している。また家族には、医療の経過について電話にて連絡をしたり、文書にて報告をしている。緊急時には老健のドクターが駆けつけて適切な医療を支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期について、本人・家族等の希望を聞き、法人の施設との連携や他の施設等への紹介など方針について職員に周知している。		終末期に向けての体制が整っていないので現在は出来ていませんが、今後終末期のあり方についての体制を整え支援できることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を大切に、かける言葉や職員同士の会話に配慮し、利用者の誇りやプライバシーを守るよう、日々の現場、ミーティング等で徹底している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調や本人の希望、訴えを尊重しながら、柔軟に対応している。日々一人ひとりのペースを最優先にし散歩に出かけたり、リビングでくつろいだり、居室でお休みになったり利用者の希望にそって過ごせるよう支援している。		

グループホーム大浜

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は、食材の準備や盛り付け、配膳、後片付け等を利用者の出来る能力に応じて手伝い職員と会話しながら行っている。また食事制限のある利用者には職員が、量の調整をしている。食事の好みについては、特に行っていないが、職員が量の調整をし栄養バランスが偏らないように配慮している。		食事の時に同じ食事を食べながら、食事の際に利用者と和やかに会話等に参加され、食事をより楽しく支援されることを期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的には、週3回の入浴ですが、利用者の希望があれば、余裕があれば入浴日以外でも対応している。入浴の嫌いな人には声掛けの工夫で支援している。		浴室には暖房設備がありますが、脱衣所までは中々温まりません。冬場は寒さを感じるので暖房設備の設置の今後の対応を期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者お一人おひとりの得意としていることや力量を把握している。毎月行事では、パン作り、絵、陶芸、書道、生け花、園芸等、料理、を行い、また地域への祭りの参加もして、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の状態や季節等を考慮して、近隣の海岸やみかん畑へ散歩に出かけたり、近くのスーパーに買い物ツアーに出かけ、利用者が楽しく自分で商品を選んで買い物をする支援をしている。閉じこもりがちな冬期間でもお天気の良い日には外出され利用者の思いの実現に十分な支援がなされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、廊下、リビングは広々としており鍵は掛けていないが、旧校舎を利用してあり、居室が2階・3階にあり階段を利用するには危険なため出入口には、鍵をかけている。しかし、頻繁に散歩に出かけ自由な暮らしへの支援がされている。		出入口にセンサー等設置し利用者の出入りをチェックできるように期待いたします。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署と隣接の老健と合同で避難訓練を実施している。1日置きに朝礼時に火災発報の唱和を行っている。		地域への非常災害時の避難場所としての提案をされ、益々地域密着の交流をされることを期待します。

グループホーム大浜

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立の栄養バランスについては、併設施設の管理栄養士に支援してもらい調理している。食事量については、制限せず職員が量については、配慮し摂取量についてはチェックしている。水分補給は1日の時間を決め、約1000ccは摂取するようにしている。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用区間は広いスペースをゆったりとっており、利用者が自力で移動できるようゆったりしている。居室には、障子を配し柔らかな光が入居者を和ませ、廊下は広い窓があり明るく、近隣は自然に囲まれ静かである。またお雛様や季節の花が飾られ利用者が季節感を感じられるよう、居心地よく過ごせるように工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、写真、花、折り紙、陶芸作品や額が飾られ自分の居室として居心地良く安心して過ごせるよう配慮している。		